

2021年度 事業報告

社会福祉法人 幸仁会

1. 2021年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は通所事業の稼働率の上昇、入所事業の稼働維持により増加となった。
 - 報酬改定による単価アップ
 - 加算算定による増収
 - どの拠点においてもコロナ特例による補助金あり
 - 稼働率
 - 事業によっては新型コロナウイルス感染症の影響はあったが前年度比増となった事業が大半を占める。
 - 入所系サービスは、長期入所については増収となったが、関東方面は短期入所減収。
 - 通所系サービスは増収。
 - 人員配置の適正化、業務の効率化の実施にむけ分析を進めた。
- サービスの質
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制の推進
 - 感染症対策を行った上、QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動の企画、実施
- 人材の確保、育成
 - 外国人介護人材の定着。1名はEPAから特定技能へと切り替え、就業継続支援を行った。
 - 高卒新人の入職受け入れ
 - 介護職員のアセッサー講習受講
 - 職場環境の見直し、有休消化、時間外労働削減へ取り組み、職員のモチベーションの維持とストレスケアにむけ、話し合う
 - 人員配置が適正であるかの見直しの実施、適正配置への計画作成
 - 研修の実施。座学だけでなく実地研修の積極的实施
 - キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化

- 法人、グループ内の連携
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、地域応援の広報紙への参加。
 - 地域の理美容室の方やお店の方との交流。
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続の為、各事業所会議等への参加を継続した。
- 新規事業、改修工事
 - 令和3年7月1日かおりの丘居宅支援事業所開設
- 介護報酬改定
 - 特養
 - 収益(前年度比): +0.2%
 - 要因
 - 基本サービス費のアップ: +1.9%
 - 加算算定による増収: ▲1.3%
 - 食費の改定による増収: +0.3%
 - 稼働率等の影響: ▲0.7%
 - デイサービス (2020年度はコロナ特例による増額あり)
 - 収益(前年度比) +7.7%
 - 要因
 - 基本サービス費のアップ: +1.0%
 - 加算算定による増収: +1.3%
 - コロナ特例の終了による減収: ▲4.2%
 - 稼働率等の影響: +9.6%
 - 訪問看護
 - 収益(前年度比): ▲1.5%
 - 要因
 - 基本サービス費の減収: ▲0.6%
 - 加算算定による増収: ±0%
 - 稼働率等の影響: ▲0.9%

- 訪問介護
 - 収益(前年度比): ▲5.2%
 - 要因
 - 基本サービス費の減収: ▲0.7%
 - 加算算定による増収: ±0%
 - 稼働率等の影響: ▲4.5%
- 居宅
 - 収益(前年度比): ±0%(新規開設の為)
 - 要因
 - 基本サービス費のアップ: ±0%
 - 加算算定による増収: ±0%
 - 稼働率等の影響: ±0%
- 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策、職員への注意喚起の徹底

2. 運営状況(稼働率、利用者数)

※()の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養(稼働率)

事業所名	2020年度	2021年度
特養かおりの丘(入所)【60名】 (ショート)【10名】	104.0% 62.3%	104.0%(±0%) 66.8%(+4.5%)
ヴィラー宮(入所) 【20名】	98.6%	98.6%(±0%)
ヴィラ泉 (入所)【110名】 (ショート)【10名】	98.2% 98.6%	98.3%(+0.1%) 89.2%(▲9.4%)
ケアホーム花畑(ユニット型入所)【72名】 (ユニット型ショート)【12名】 (従来型) 【36名】	98.1% 73.8% 99.0%	97.4%(▲0.7%) 63.0%(▲10.8%) 99.5%(+0.5%)

- 通所介護(稼働率)

事業所名	2020年度	2021年度
かおりの丘デイサービスセンター【35名】	68.9%	77.4%(+8.5%)
平成デイサービスセンター泉【20名】	60.7%	59.2%(▲1.5%)

- 訪問看護(延べ人数)

事業所名	2020年度	2021年度
訪問ステーションてととと洲本	9,891名	10,100名(+209名)

- 訪問介護(延べ人数)

事業所名	2020年度	2021年度
かおりの丘ホームヘルプサービス	6,957名	6,041名(▲916名)

- 居宅介護支援(ケアプラン数)

事業所名	2020年度	2021年度
かおりの丘居宅介護支援事業所	-	387件

障がい者事業

- 居宅介護・重度訪問介護(延べ人数)

事業所名	2020年度	2021年度
かおりの丘ホームヘルプサービス	634名	1,165名(+531名)

- 移動支援(延べ人数)

事業所名	2020年度	2021年度
かおりの丘ホームヘルプサービス	-	52名

その他事業

- 在宅介護支援センター(延べ人数)

事業所名	2020年度	2021年度
かおりの丘在宅介護支援センター	459名	386名(▲73名)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 幸仁会

対象事業所

高齢者事業

かおりの丘(特養)【定員:入所-60名 ショート-10名】

かおりの丘デイサービスセンター(通所介護)【定員:35名】

かおりの丘ホームヘルプサービス

(訪問介護(予防含む)、障害福祉サービス:居宅介護)

その他事業

かおりの丘居宅介護支援事業所

かおりの丘在宅介護支援センター

高齢者事業

かおりの丘(特養)【定員:入所-60名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 介護負担の大きい方や介護度の高い利用者様も積極的に受け入れ、空床発生時には、サービスを必要とする待機者の方に来る限り早くご案内することで昨年度より増収となった。
 - 令和3年4月の介護報酬改定による新規加算の算定を行った。排せつ支援加算(Ⅰ)、科学的介護推進体制加算(Ⅱ)、安全対策体制加算、栄養マネジメント強化加算等。
 - 稼働率
 - 入院者、退所者があった際は、新規入所者様の受入れを早期に行い、稼働率の安定に努めた。
 - 積極的に事業所を訪問し、入所申込者、新規利用者様の獲得に努めた。
 - 収支改善
 - ロングショートの利用者様の確保に努め、空床が発生時に長期への移行をし、空床情報の提供等を行い、より多くの利用者様に利用して頂けるように努めた。
 - サービスの質
 - コロナ禍で外出や地域交流、ボランティア等の受け入れが難しい中、定期的に行事を企画し、日々のレクリエーションも少人数でも楽しめるように考え、取り組み、利用者様へのサービスの維持に努めた。
 - より良いサービスに繋げるため、多職種との連携を密に行った。
 - 新型コロナウイルスによる面会制限のため、オンライン面会を導入し、積極的に家族様へ案内、推奨した。
 - 人材の確保、育成
 - 外国人介護人材の定着。EPA介護福祉士候補生の特定技能実習への切り替えを支援。継続して就労する事となった。
 - 職場環境の見直し、有休消化、時間外労働削減へ取り組み、職員のモチベーションの維持とストレスケアにむけ話す機会を設けた。
 - 介護福祉士合格者あり。より充実した介助、支援体制の整備を進めた。

- 研修の実施
 - AED訓練や、垂直避難訓練、座学だけでなく実地訓練も積極的に行った。
- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの状況をみながら地域応援の広報誌への参加。
 - 地域の理美容室の方に来ていただき散髪をして頂いた。
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続するため、各事業所会議等への参加を継続した。
- 主な指標

- 入所 ※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	104.0%	104.0%(±0)
平均要介護度	3.9	3.9(±0)
単価(人・日)	11,232円	11,359円(+127円)

- ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	62.3%	66.8%(+4.5%)
平均要介護度	3.1	3.2(+0.1)
単価(人・日)	11,390円	11,168円(▲222円)

かおりの丘デイサービスセンター(通所介護)【定員:35名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 新規利用者の獲得など前年度の比較で増収となった。
 - 令和3年4月の介護報酬改定による新規加算の科学的介護推進体制加算算定、個別機能訓練加算の算定等で単価アップした。
 - 稼働率
 - 前年度との比較で稼働率は8.5%上昇した。
 - 積極的な事業所訪問を実施し、新規利用者の獲得に努めた。

- 収支改善
 - 広報活動を行い、新規利用者の獲得に継げることができた。
- サービスの質
 - やりたいことができるデイを目指し、職員全体で取り組むことができた。
 - 利用者の状態や家族の希望に合わせた、短時間デイの利用やサービス提供を行った。
 - 利用者の状況などが変化した場合は事業所との積極的な連携を行った。
- 人材の確保、育成
 - 産休職員への配慮等、人材が確保できる環境に努めた。
 - コロナウイルス感染症対策を踏まえた上で職種、経験や個人の特性に即した研修の実施。
- 地域貢献活動
 - 通所介護事業所連絡会への参加。
 - 地域イベントに参加し、作品展示を実施。
- 改修工事
 - なし

● 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	68.9%	77.4%(+8.5%)
平均要介護度	2.2	2.2(±0)
単価(人・日)	8,716円	8,964円(+248円)

かおりの丘ホームヘルプサービス

(訪問介護(予防含む)、障害福祉サービス:居宅介護)

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 地域広報活動で、障害分野や新規利用者様獲得に繋げたが、訪問介護員の退職等で延べ人数の増加、増収までには至らなかった。
- 介護保険サービスについては、令和3年4月の介護報酬改定による影響はなかったが、特定事業所加算Ⅱに変更となったため単価ダウン。

■ 稼働率

- 訪問介護員1人一日5件の目標は達成率90%

- 収支改善
 - 訪問スケジュールを見直し、空き時間を埋めることに努めた。
 - 障害福祉分野の利用者の受け入れを積極的に行った。
- サービスの質
 - より良いサービスにつなげる為、職員間での情報の共有を密にした。
 - 関連機関との連携を大切に行った。
- 人材の確保、育成
 - 退職者の再入職・現場復帰等マンパワーの確保に努めた。
 - コロナウイルス感染症対策を踏まえた上で職種、経験や個人の特性に即した研修の実施。
- 地域貢献活動
 - 淡路市訪問介護事業所連絡会、淡路障害者自立支援協議会への参加と連絡会主催の研修会に参加。
- 改修工事
 - なし

● 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

○ 訪問介護(予防含む)

介護・予防	2020年度	2021年度
延べ人数	6,957名	6,041名(▲916名)
単価(人・日)	46,023円	43,455円(▲2,568円)

○ 障害福祉サービス:居宅介護

障害	2020年度	2021年度
延べ人数	634名	1,165名(+531名)
単価(人・日)	40,114円	41,540円(+1,426円)

○ 障害福祉サービス:移動支援(R4.2～スタート)

障害	2020年度	2021年度
延べ人数	-	52名
単価(人・日)	-	2,300円

その他事業

かおりの丘居宅介護支援事業所

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 2021年7月新規開設した。
 - 令和3年4月の介護報酬改定による影響はなし
 - サービスの質
 - 主任介護支援専門員 1名(管理者兼務)
介護支援専門員 1名(在宅介護支援センター兼務)
計2名で運営。
担当利用者様の情報共有と連携を意識して、担当ケアマネ不在時にでも対応が可能な体制づくりを実施
 - 各関係機関と創発的ネットワークを形成するために、関係者会議等へ積極的に参加。(包括と市内事業所連絡会が主催する会議等)
 - 人材育成・確保
主任介護支援専門員の元、制度や新たな社会資源や地域活動等を情報を集め利用者様により良いサービスおよび活動を提供することに努めた。
 - 地域貢献活動
 - 在宅介護支援センター機関の役割を生かした居宅介護の説明会を地域で開催
 - 各地区での研修会講師(認知症サポーター養成講座等):2件
在宅介護支援センターと居宅介護支援事業所の両方の立場で参加
- 主な指標 ※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
訪問件数	-	387名

かおりの丘在宅介護支援センター

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 関係者会議の自粛。コロナ感染症予防において、訪問活動の再開や活動が流動的に変化し、活動に影響。在宅介護支援センター職員が7月より在宅介護支援の業務を兼務することになったことも減収につながる。
 - サービスの質
 - コロナ禍でもできる、コロナ禍だからこそできる活動を計画し、地域での活動に参加。
 - 主にオンライン(簡単なスマホ教室等)を説明。認知症サポーター養成講座を新たに小学校や高校、一般企業にも講義。
 - 各居宅介護支援事業所、行政関係者や、地域の役職(民生委員等)とのつながりをサポートする係として活動。
 - 地域貢献活動
 - 各地区での研修会講師(認知症サポーター養成講座等):2件
- 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
訪問件数	459名	386名(▲73名)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 幸仁会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラー宮(地域密着型介護老人福祉施設)【定員:入所-20名 ショート空床利用】

高齢者事業

ヴィラー宮(地域密着型介護老人福祉施設)【定員:入所-20名 ショート空床利用】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 令和3年4月の介護報酬改定による下記新規加算の算定等で増収となった。排せつ支援加算(Ⅰ)、科学的介護推進体制加算(Ⅱ)、安全対策体制加算、栄養マネジメント強化加算等。
 - 日常生活継続支援加算(Ⅱ)の算定継続。
 - 入院等により空床ができた際には待機者が早期に入所できるように取り組みを行った。
 - 稼働率
 - 利用者様の健康管理に努め、安定した入所状況の継続ができるように取り組んだ。
 - 待機者が早期に入所できるように取り組み、稼働率の安定に努めた。
 - 収支改善
 - 人員配置の適正化を進めた。
 - 業務改善に取り組み、効率化の実施を進めた。
 - サービスの質
 - コロナ禍の中、外出や地域との交流ができない中、施設内で定期的に季節に応じた行事を実施し利用者様へのサービスの維持に努めた。
 - 家族様にオンライン面会の案内を積極的に行い、オンライン面会を実施しています。
 - 利用者主体の介助、支援に努めた。
 - より良いサービスに繋げられるように他職種で連携を行った。
 - 人材の確保、育成
 - 介護福祉士合格者あり。より充実した介助、支援体制の整備を進めた。
 - 技能実習生1名を受け入れて順調に業務を行いスキルを身に着けることができた。
 - 介護キャリア段位制度(アセッサー)取得の取り組みを行った。
 - 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの流行状況を踏まえながら、状況に合わせて書面開催や施設にて運営推進会議を行った。
 - 地域の理美容室の方に来ていただき散髪をして頂いた。

- 主な指標

- 入所(ショート含む)

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.6%	98.6%(±0%)
平均要介護度	3.5	3.5(±0)
単価(人・日)	12,916円	13,379円(+463円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 幸仁会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ泉(特養)【定員:入所-110名 ショート-10名】

平成デイサービスセンター泉(通所介護)【定員:20名】

高齢者事業

ヴィラ泉(特養)【定員:入所-110名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収支は前年度比よりわずかではあるが増収した。
 - 特養の医療対応者の受け入れを実現し個人単価が増収した。
 - ショートの個人単価が増収となった。
 - 新型コロナウイルスによる助成金を受けた。
 - 科学的介護推進体制加算など介護報酬改定による新規加算の算定により増収した。
 - 稼働率
 - 入所の稼働率は新型コロナウイルスの陽性者を出すも0.1%増となった。
 - ショートの稼働率は新型コロナウイルスの影響で9.4%減となった。
 - 措置・緊急の受け入れを行い空床利用を積極的に行った。
 - 収支改善
 - 特定行為が行える看護師が往診医と連携し病院受診を軽減した。
 - 空床を作らないようにショートの稼働と連動させて相談員、ケアマネジャーの連携、相談を密に行った。
 - ショートステイの稼働率向上の為、職員のユニット交換を行った。
 - サービスの質
 - 新型コロナウイルス対策を行いながら、お誕生日会や豆まきや盆踊りを開催した。
 - 新型コロナウイルスで近隣施設が面会禁止としている、PPEをしっかりと着用してもらい感染対策を十分に行い実施した。
 - 新型コロナウイルスで面会制限があるため、オンライン面会を積極的に導入した。
 - 面会制限がある為、面会時には家族様との記念撮影を行い、写真を家族様と利用者様に渡し喜ばれた。
 - 人材の確保、育成
 - 看護部の意見や行動をまとめる為、看護主任がしっかりリーダーシップを取った。
 - 厨房内の調理作業の見直しや栄養課の後輩指導の為、調理師リーダーが指示を行い厨房内の問題に取り組んだ。
 - 介護福祉士、管理栄養士の新卒者2名を採用した。

- 地域貢献活動
 - 地域ケアプラザ開催の敬老会等のイベントの際、施設車とドライバーで参加した。
 - 近隣幼稚園、小学校の生徒と作品を通じて交流を図った。
 - 地域包括事業で毎週ヴィラ泉の駐車場を青空スーパー(ローソン、障害者施設のパン販売)を開始した。
 - 柳明自治会と防災協定を結んだ。
- 改修工事
 - 施設全体のエアコンの修理
 - エコキュートの修理
 - 各階の浴槽の修理

- 主な指標

- 入所 ※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.2%	98.3%(+0.1%)
平均要介護度	3.8	3.8(±0)
単価(人・日)	14,765円	14,879円(+114円)

- ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	98.6%	89.2%(▲9.4%)
平均要介護度	3.1	3.1(±0)
単価(人・日)	14,731円	14,936円(+205円)

平成デイサービスセンター泉(通所介護)【定員:20名】

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 新型コロナウイルスの影響で減収となった。
- 個人単価が増収となった。

- 稼働率

- 新型コロナウイルスの影響の中、70%を超える月もあったが、年間を通して59.2%と昨年度よりも減少となった。

- 入所で新型コロナウイルス陽性者が発生し、一時閉鎖をする事になり減少した。
- 職員より新型コロナウイルス陽性者が発生し、一時業務縮小を行った。
- 収支改善
 - 送迎範囲を極力広げ、今まで獲得出来なかった利用者を獲得した。
 - 利用者様の利用回数を増やして頂く為、イベントの充実を図った。
 - 介護職員の稼働率についての意識が向上した。
 - 隣接した市の近隣病院に営業を行い、新規利用者を獲得した。
- サービスの質
 - 接遇面を職員全体で見直しをした。
 - 環境面を整え、入浴時のプライバシー保護が出来るように努めた。
 - イベントに参加しなくても、自由に利用できる雰囲気を作った。
 - 基本である利用者様同士の触れ合いを大切にした。
 - 個別リハビリ(歩行練習)を積極的に取り入れ、利用者様と家族様の満足度を向上させた。
 - 利用者様のニーズに答え、女性週刊誌の定期購読を開始した。
- 人材の確保、育成
 - 職員の定着を目標に頑張った。
 - 常勤介護職員を増員し、安定したサービスを提供出来る様にした。
 - 自主的に活動出来るように相談員だけではなく、介護職員に役割を多くした。
- 地域貢献活動
 - 特養で行っている青空スーパーに参加した。
- 改修工事
 - 洗面台に簡易な蛍光灯を設置した。

● 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	60.7%	59.2%(▲1.5%)
平均要介護度	2.0	1.8(▲0.2)
単価(人・日)	9,526円	9,602円(+76円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 幸仁会

対象事業所

高齢者事業

ケアホーム花畑(特養・ユニット型)【定員:入所-72名 ショート-12名】

ケアホーム花畑(特養・従来型)【定員:入所-36名】

高齢者事業

ケアホーム花畑(特養・ユニット型)【定員:入所-72名 ショート-12名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は稼働率の増加に伴い増収となる。
 - 令和3年4月の介護報酬改定に伴い算定等で増収となる。
 - 日常生活継続支援加算Ⅱの算定
 - 排せつ支援加算Ⅰの算定
 - 科学的介護推進体制加算Ⅱの算定
 - 稼働率
 - コロナ禍において後半は入院が増え稼働率に若干の影響がでた。
 - 医療行為及び認知症が高度な方を受け入れる事により他の施設との差別化を図ることが出来た。
 - 日常生活継続加算等の収益を意識し新規入居者の自立度・介護度の確認を行い入所受入れを行った。人員配置の適正化、業務の効率化の実施
 - サービスの質
 - ご家族の要望に応じ協力病院と連携し健康診断の実施をおこなうことで利用者様とご家族の負担が軽減された。
 - 利用者様の個別性を重視し可能な要望には対応する。
 - 24時間看護師を配置することで疾患の早期発見と早期治療に繋げることが出来た。
 - 毎月ご家族様へ利用者様の状況と写真を送り施設での生活を報告し安心感を得る。
 - 人材の確保、育成
 - 介護職員の意識向上を目指し係長職・主任職を命じ、役職者としての役割を意識し人材定着と介護技術の標準化を目指す。
 - ユニットリーダー研修・痰吸引研修・アセッサー研修・リスクマネジメント研修・特定看護師研修への参加
 - 地域貢献活動
 - コロナ禍のなか積極的な活動は控え、施設が避難所として有効利用できるような備品のチェックと整理を行った。

- その他

- コロナ感染症予防を遵守しながら毎月ユニット単位で年間行事計画をこなすことが出来た。

- 主な指標

- 入所

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	98.1%	97.4%(▲0.7%)
平均要介護度	3.9	3.8(▲0.1)
単価(人・日)	14,900円	15,310円(+410円)

- ショート

	2020年度	2021年度
稼働率	73.8%	63.0%(▲10.8%)
平均要介護度	3.3	3.8(+0.5)
単価(人・日)	15,100円	16,057円(+957円)

ケアホーム花畑(特養・従来型)【定員:入所-36名】

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 全体の収益は稼働率の増加に伴い増収
 - コロナ特例による補助金あり
 - 科学的介護推進体制加算Ⅱ
 - 排せつ支援加算Ⅰ

- 稼働率

- 入居者が定着し、99%を維持することが出来た

- 収支改善

- 医療行為及び認知症が高度な方を受け入れた。
 - 排泄支援加算の導入
 - サービス提供加算等の収益を意識し新規入居者の自立度・介護度の確認を行い入所受入れを行った。
 - 人員配置の適正化、業務の効率化の実施

- サービスの質
 - ご家族の要望に応じ協力病院と連携し健康診断の実施をおこなうことで利用者様とご家族の負担が軽減された。
 - 利用者様の個別性を重視し可能な要望には対応する。
 - 24時間看護師を配置することで疾患の早期発見と早期治療に繋げることが出来た。
 - 毎月ご家族様へ利用者様の状況と写真を送り施設での生活を報告し安心感を得る。
- 人材の確保・育成
 - 介護職員の意識向上を目指し係長職・主任職を命じ、役職者としての役割を意識し人材定着と介護技術の標準化を目指す。
 - ユニットリーダー研修・痰吸引研修・アセッサー研修・リスクマネジメント研修・特定看護師研修への参加
- 地域貢献活動
 - コロナ禍のなか積極的な活動は控え、施設が避難所として有効利用できるよう備品のチェックと整理を行った。
- その他
 - コロナ感染症予防を遵守しながら毎月ユニット単位で年間行事計画をこなすことが出来た。

● 主な指標(ショート含む)

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
稼働率	99.0%	99.5%(+0.5%)
平均要介護度	4.0	4.0(±0)
単価(人・日)	12,900円	12,835円(▲65円)

2022年 6月 7日

2021年度 事業報告

社会福祉法人 幸仁会

対象事業所

高齢者事業

訪問ステーションてとと洲本(訪問看護)

高齢者事業

訪問ステーションてととと洲本(訪問看護)

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 人員体制は同数で推移し、看護師3名、理学療法士3名で稼働。サービス提供の全体収益は前年度比98.5%。(部署別内訳では看護師前年比89%、リハビリ前年比108.4%)
 - 介護報酬改定による影響として、基本サービス費の増加のあった看護師訪問件数よりも減少したリハビリ訪問実績の割合が多いため売り上げ単価は前年比96.8%と減収。
 - コロナ特例による補助金あり
 - 稼働率
 - 稼働の延べ人数は全体で前年度比101.5%。(内看護師対象は前年度比96.9%、リハビリ対象は前年度比106.7%)
 - 2021年1月から開始となった看護師の定期巡回・随時対応サービス連携対象の利用者は前年度月平均2.3人から月平均4.8人と前年比108%と拡大。
 - 収支改善
 - リハビリの訪問件数が前年比109%、一人当たり1日平均訪問件数は前年比105.6%(5.6件、管理者除く)、内単価の高い医療保険対象では前年比116.3%と単価向上につながった。訪問件数と単価の両面から収益増につなげることができた。
 - 医療保険利用者は前年度比94.4%(訪問件数は前年比85.1%、看護師対象前年比75.1%、リハビリ前年比116.3%)
 - 定期巡回・随時対応サービス連携の利用者増による収益増を認める。
 - 看護師の訪問件数が前年比87.8%、一人当たり1日平均訪問件数は前年比100.2%、件数全体に対して単価の高い1時間訪問は約18%、医療保険は約21%。全体件数と単価割合の向上には至らず、2022年度の継続した課題としている。
 - サービスの質
 - コロナ禍で訪問者に対する受け入れも一部厳しい時期のある中、感染予防に対する取り組みを行い、利用者様の理解を得てサービスが継続できるように努めた。
 - 要介護度の高い利用者、重度疾患、難病等利用者に対し経管栄養、褥瘡処

置、人工呼吸器管理等の在宅で必要とされる看護提供を安全に実施できるように対応を行った。

- 利用者様の状態の変化や家族様の希望に合わせたサービス提供ができるように看護師・リハビリの事業所内連携とともに他事業所多職種との連携を行った。
- 個人の知識、技術面の向上、接遇マナーについて定期的な確認・見直しにつなげるようにミニカンファレンス等を継続して実施した。
- 人材の確保、育成
 - 職種、経験や個人の特性に即した指導・教育となるような研修やケースカンファレンスを行い、業務の質を高めるよう取り組みを継続している。
 - 自発的に業務の取り組みを進めることができる、自ら考え、最適解を導き出すための気づきや知識・判断基準を持てるように研修等取り組みを実施。
- 地域貢献活動
 - 地域の自立支援会議や在宅療養支援計画策定会議(難病患者支援者検討会)、圏域訪問看護ステーション協議会など、Web会議を中心として参加を継続し、各種の連携を図った。
 - 2021年度より本格的に定期巡回・随時対応サービス連携委託業務を実施。
 - 新型コロナ感染対策として、2021年度は「通いの場」「サロン」等での参加活動は実施せず。
- 改修工事
 - 実施無し
- その他
 - 兵庫県の事業制度の利用の継続(在宅人工呼吸器使用患者支援事業)
 - 2020年に引き続いて精神科訪問基本療養費の対象者の訪問を継続
 - 2021年度より本格的に地域の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携委託業務が軌道に乗る。

● 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2020年度	2021年度
延べ人数	9,891名	10,100名(+209名)
平均要介護度	1.9	1.9(±0)
単価(人・日)	4,353円	4,216円(▲137円)